



A-PLAT

気候変動適応情報プラットフォーム  
CLIMATE CHANGE ADAPTATION INFORMATION PLATFORM

資料1



# 令和5年度 地域の気候変動適応推進に向けた意見交換会

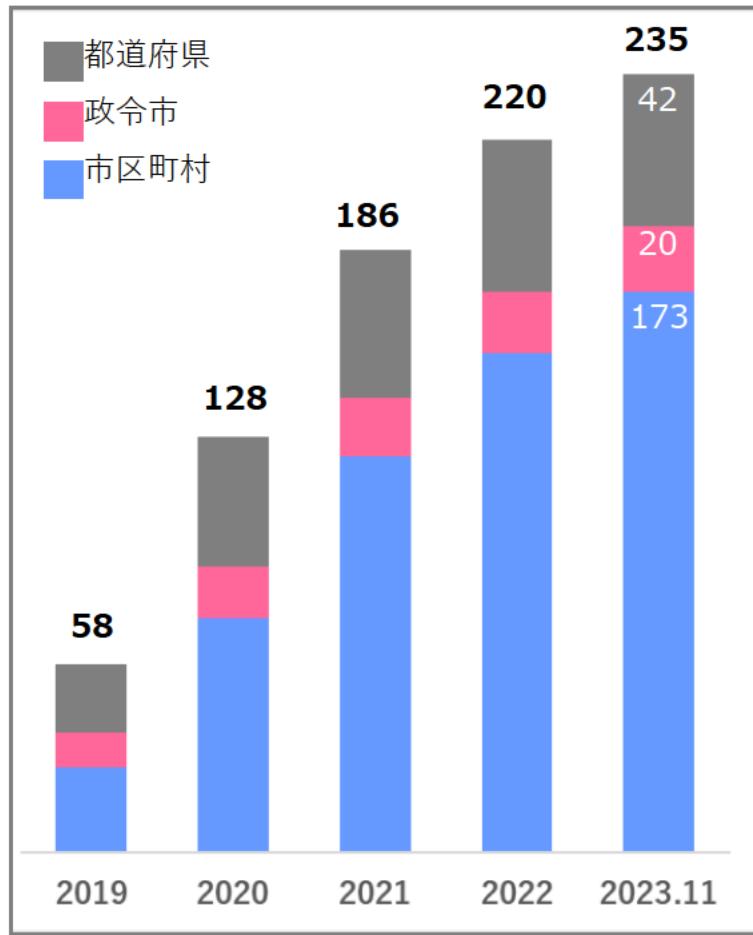
趣旨説明  
2023年12月22日



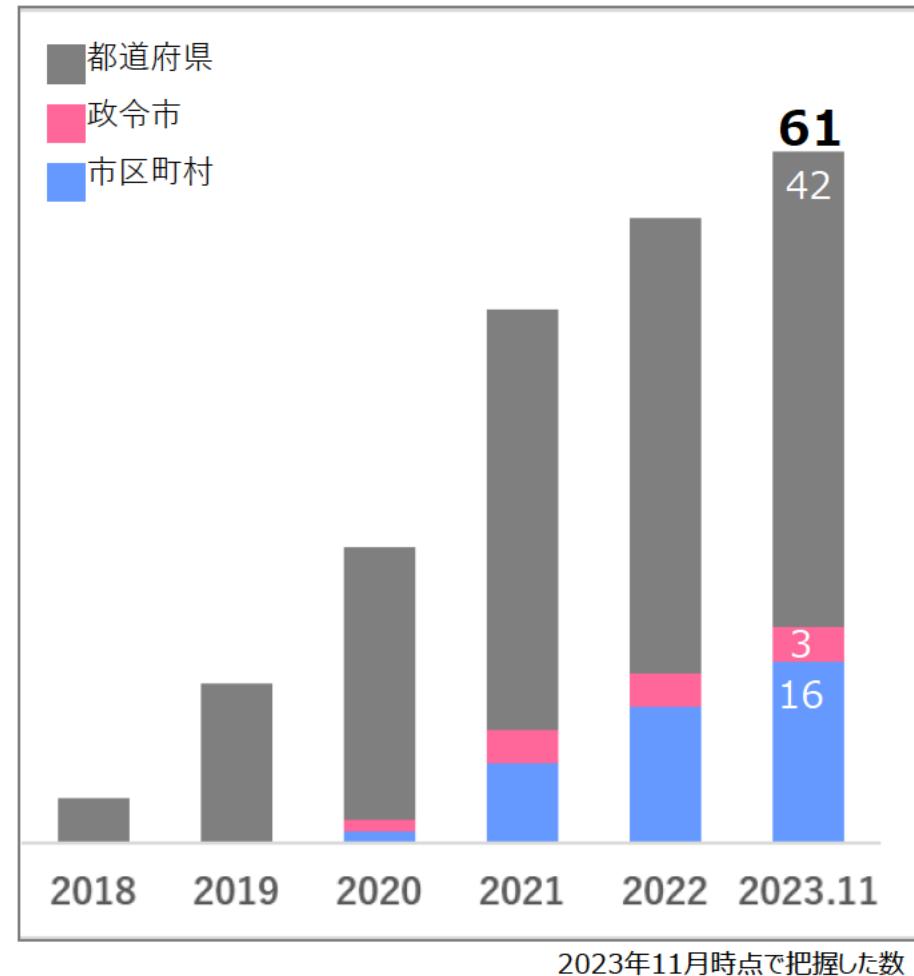
国立環境研究所  
気候変動適応センター 藤田知弘

# 地域の適応は確実進んでいる！

## 地域気候変動適応計画の策定数



## LCCACの設置数



# 地域独自の取組

## 大分県LCCAC

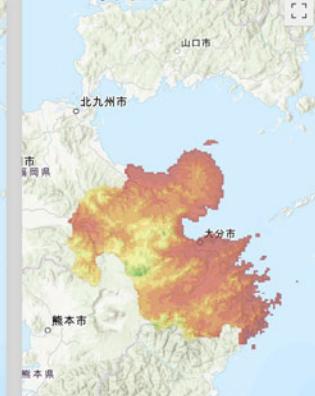
基準期間平均  
(1980-2000)



温暖化対策が進んだ場合  
(今世紀末予測)



温暖化対策しなかった場合  
(今世紀末予測)



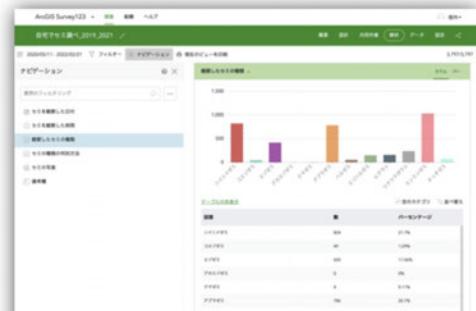
<https://occac.jp/prediction/>

県内の将来気候変動をGIS化し、HP公開

アブラゼミの  
ぬけがら



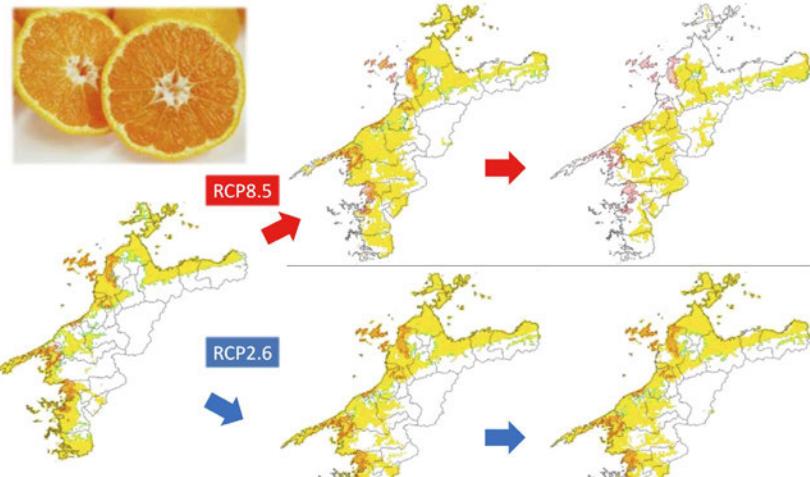
クラウド上の専用ページ  
で情報提供 (ArcGIS Online)



<https://adaptation-platform.nies.go.jp/moej/kokuminsanka/index.html>

市民参加型生物調査と生物季節観測

## 愛媛県LCCAC



<https://adaptation-platform.nies.go.jp/moej/kokuminsanka/index.html>

地場産品への気候変動影響予測

## 高知県LCCAC



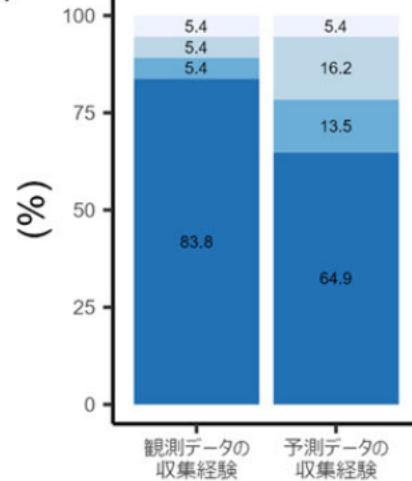
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2023110700026.html>

## 高知県LCCAC

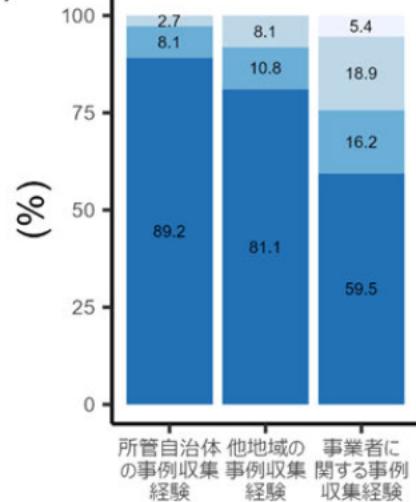
県内の気候変動や産業分野の適応策  
をわかりやすく解説

# LCCACの課題の例

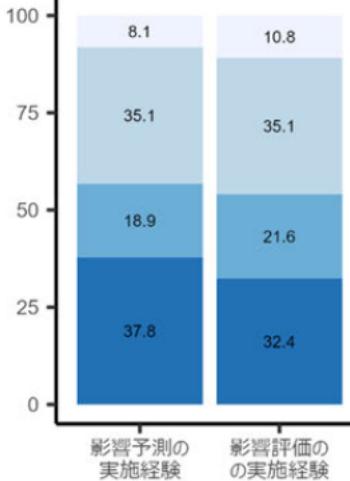
## 1) 科学的知見の整理



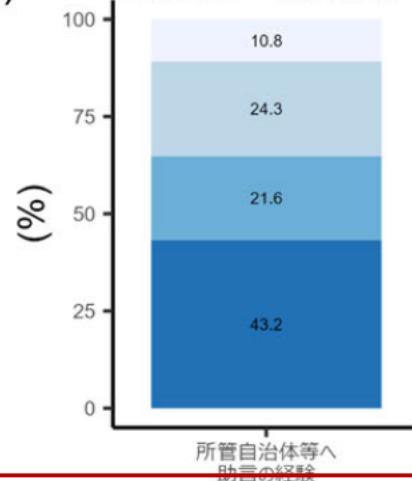
## 2) 優良事例の収集



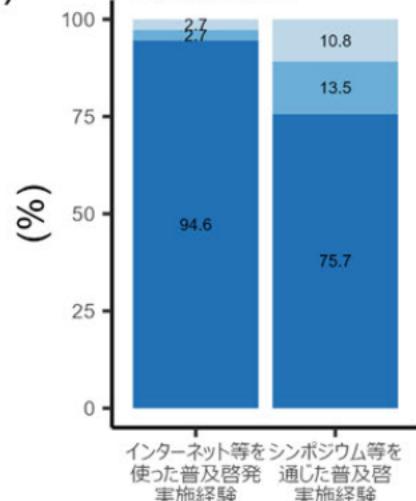
## 3) 将来予測の実施



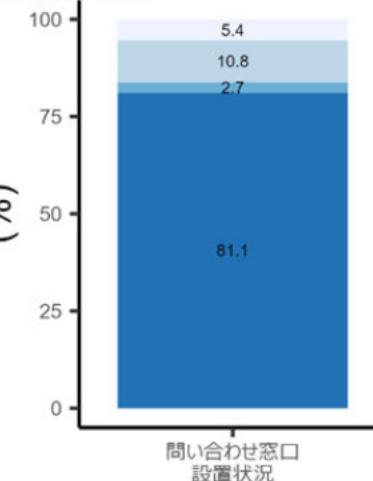
## 4) 自治体への助言



## 5) 情報発信



## 6) 相談対応



Fujita et al.  
in preparation

図 適応法施行通知に記載された期待される役割 6 項目の実施経験の有無の比較

## 課題整理の必要性

### 気候変動適応法 附則第五条

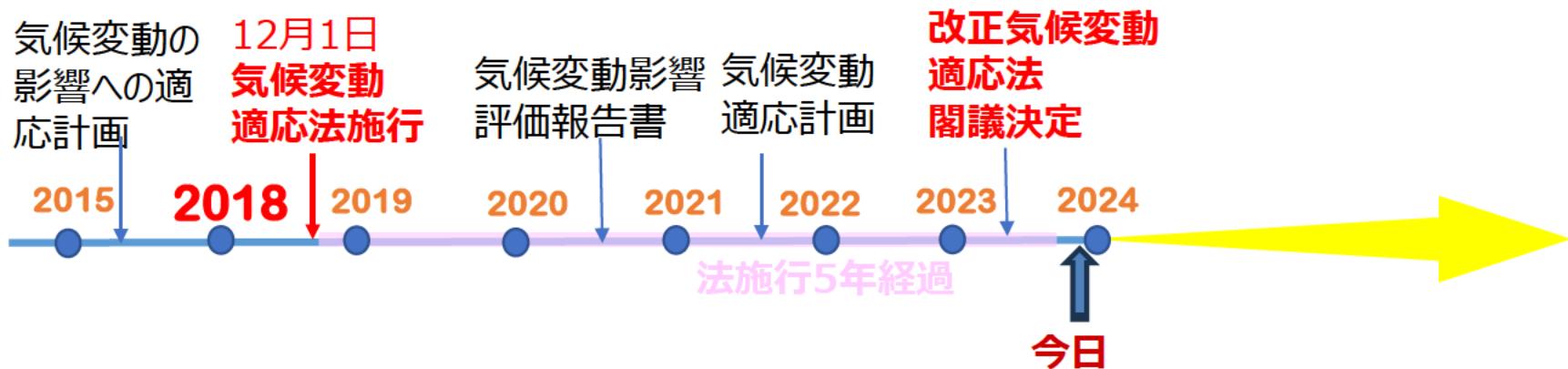
政府は、この法律の**施行後五年を経過した場合**において、この法律の施行の状況について検討を加え、必要があると認めるときは、その結果に基づいて所要の措置を講ずるものとする。

出典：気候変動適応計画 [https://www.env.go.jp/earth/earth/tekiou/page\\_00608.html](https://www.env.go.jp/earth/earth/tekiou/page_00608.html)

フィードバックを行い、課題を整理し、地域における適応のステップアップに繋げたい！

# 国の施策と地域気候変動適応センターの発展

## 国の施策



## 地域センターの発展

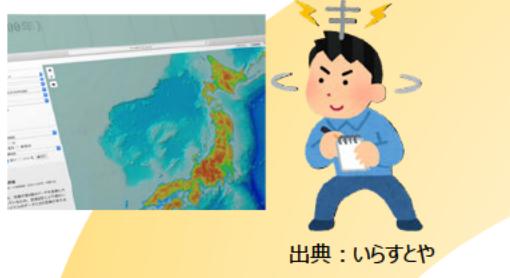
▶課題に向き合いながら、  
施行通知を基にセンター  
業務や研究を発展させて  
きた

適応法施行5年  
を迎える  
▶今後目指す方  
向性は何か？  
▶そのための  
LCCACの中長期  
(5-10年)的なあ  
りかたとは？

# 目指す方向性/中長期的なありかたとは？

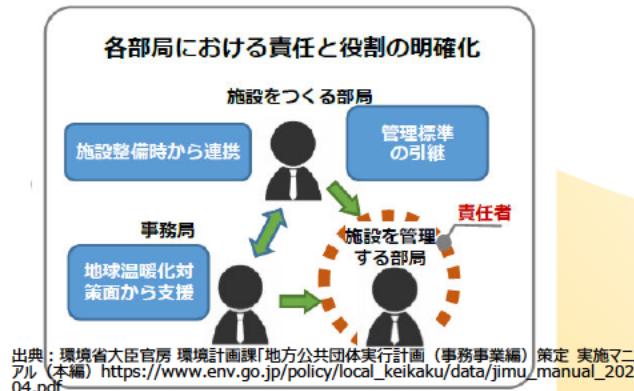
## ① 情報収集

地域の気候シナリオ、影響予測・評価のDB構築・公開⇒適応策へ



### ③ 施策支援

#### ＜課題解決のポイント＞



- 各部局で気候変動適応の視点が入った施策の展開
  - LCCACが横断連係を推進

※何を目指すか？そのためにすべきことは？

キヤツチフレーズの例：  
「地域における気候変動適応推進の  
ハブ／プラットフォーム」



## 適応の視点も入れた地域づくりへの参画

## ② 調査研究

地域の研究機関で  
共同研究を実施



## ④ 普及啓発・教育

## 脱炭素や地域づくりと連携し、 横断的・総合的な学習を通じ た人財育成



#### ■多様な主体との連携

# <参考>海外における(地域)適応戦略の考え方 (例)

12月14日（木）の国際シンポジウムにおける話題提供より



- ✓ カナダの適応戦略（2023年6月）では、気候レジリエントな地域社会を構築するため、中期～長期的なビジョン・目標を示した上で、短期的に取り組むアクションの関連性を示している。

出典：Canada's National Adaptation Strategy: Building Resilient Communities and a Strong Economy  
<https://www.canada.ca/en/services/environment/weather/climatechange/climate-plan/national-adaptation-strategy.html>



- ✓ 適応の目標設定や方向性を決める上で、順応的適応、予防的適応、変革的適応のバランスを考えることも重要。



出典：2023年12月14日気候変動適応センター設立5周年記念国際シンポジウムにおけるキム・ヴァン・ニューアール氏の講演資料より抜粋  
<https://adaptation-platform.nies.go.jp/archive/conference/2023/1214/index.html>

# 午前：発表者の紹介

プログラム	発表者
ゼロからはじめた情報収集・調査研究	静岡県気候変動適応センター 神谷 貴文 主査
茨城県・県内市町村の適応計画策定支援の取り組み事例	茨城県地域気候変動適応センター 横木 裕宗 教授/センター長
普及啓発に関する事例紹介 －かながわ気候変動学習教材の整備・展開を中心に－	神奈川県気候変動適応センター 田澤 慧 主査
Future Designを通じた農業分野におけるステークホルダー連携の取組事例	京都気候変動適応センター 一原 雅子 外来研究員
所沢市の気候変動適応の取組	所沢市気候変動適応センター 濱本 恵代 主任

# 午後：意見交換「LCCACの中長期的なあり方について」

日常業務での疑問、考えていらっしゃる事



午前のご発表など



意見交換に反映

設置母体を考慮した8センターへ事前ヒアリングさせて  
いただいた内容を議論の基礎資料として活用



- ・ご自身の地域で目指す方向性
- ・そのために実施すべきこと、必要な事 を整理



## まとめ

- ・ 各地域で体制が整い、独自の取組が行われている
- ・ 適応法施行5年の節目にLCCACの取組や課題を整理  
→LCCACの中長期的な“あり方”を検討し、課題解決の糸口に！（国の施策検討へのインプット含む）



本日の意見交換会の議論を  
地域における適応のステップアップに繋げたい！